

へるす・りさーち No.48

名古屋市衛生研究所

えんげ

高齢者の嚥下機能（飲み込み）の低下に注意！

～定期的に内視鏡による胃がん検診を受けましょう～

名古屋市にある某大学では経済学部4年生のケン太くと医学部4年生のエイ子さんの二人が、テニスサークルの活動後に喫茶店で休憩しています。そこに同じテニスサークルのOBで名古屋市の保健センターで公衆衛生医師をしているDr. Kさんが加わりました。ちょっと3人の会話に耳を傾けてみましょう。

ケン太くん 僕のおじいさんの同年代の知り合いが、肺炎で高熱を出して入院したと心配していたよ。

エイ子さん 何があったの？詳しく聞きたいわ。

ケン太くん おじいさんが聞いた話によると、のどの飲み込み機能の低下があったらしいよ。今は熱も下がり、一段落したところだよ。

エイ子さん ごえんせい いわゆる誤嚥性肺炎ね。高齢者によく起きることが知られているわ。発熱・咳・痰の排出が見られ、38.0度以上の熱が出ることもあるわ。私たちののどには食べ物と空気を分配する機能があって、普段は意識しなくても呼吸と食事ができているけど、高齢者では気管側に胃液と食べ物が流入することがあるのね。発熱などの症状に対し、抗生物質を使用して細菌による炎症を抑える治療を行うことになっているわ。



Dr. K 高齢になると、筋力低下や寝たきりなどで飲み込みが悪くなり、誤嚥、つまり、嚥下の異常が起きるのね。誤嚥性肺炎は2022年の日本人の死因の6位ね。患者数も増えてきているわね。

ケン太くん おじいさんの知り合いは誤嚥性肺炎だったんだね。今度は僕のおじいさんがその病気にならないか心配だな。

エイ子さん 誤嚥性肺炎の予防には、食事にとろみをつけて食べやすくするなどの食べ物の工夫と、歯磨きによる口腔のケアがあるわね。日常における口と歯の清潔さが大切ね。



出典：厚生労働省 『令和4年人口動態統計』

ケン太くん 今すぐおじいさんに電話して教えてあげたいな。

Dr. K おじいさんが大事なのね。ほほえましいわ。だけど、誤嚥を気にしすぎて食事の量が減ってしまうことは良くないわね。高齢者にとって、食事からの栄養摂取はとても大事なのよ。ケン太くんのおじいさんが食事中によくむせるようなら、一度病院で相談してみるのがいいわね。名古屋市でも、65歳以上の方を対象にした介護予防事業で嚥下機能についての講座が実施されているので、お住まいの区の保健センターに問い合わせるといいかもしれないわ。

ケン太くん はい。ありがとうございます。

エイ子さん 誤嚥性肺炎以外にも逆流性食道炎や食道がんなどの病気で嚥下障害が見られることもあるわ。

Dr. K 逆流性食道炎は、肥満の人や高齢者に多く、若い人でもなることがある病気で、嚥下の異常以外に胸やけと乾いた咳が特徴と言えるわね。

ケン太くん 咳が出た程度だと、単なる風邪とってしまったりするのかな。

エイ子さん 乾いた咳は、逆流した胃酸や食べ物により、のどが刺激されて出るもので、風邪などで出る湿った咳とは別物なのよ。酸っぱいものが下から上がってくる感じを自覚しやすいわね。

ケン太くん そうなんですわ。

エイ子さん 誤嚥性肺炎に関しては、高齢化により免疫力が低下していることが、まず原因としてあるわ。身体機能の低下でうっかりと、食べ物を気管支を通じて肺のほうに送り込んでしまうことが、誤嚥性肺炎の原因だわ。若い人の場合は、食道と胃をつなぐ接合部の筋肉が緩んで、胃酸と消化物が食道の方へに流れ込んでしまうことが、逆流性食道炎の原因としてあるわけだわ。

Dr.K 逆流性食道炎を放置すると、食道がんになる危険性が上昇してしまうわよ。逆流してきた胃酸の刺激で、胃とつながっている下部食道に食道がんができる可能性があるのよ。

エイ子さん 胃酸の分泌を抑える薬を内服し、食道の炎症を抑えることで軽快できることが知られていますわ。

Dr.K 逆流性食道炎とは反対に、食道と胃のつなぎ目が狭くなり、食べ物が胃に流れていなくなる病気が、食道アカラシアね。病期の頻度は10万人に1人程度で、比較的若い20代から50代に多いと言われているわね。

ケン太くん 逆流の反対で、食べ物が食道と胃の接合部を通過できないということですね。

エイ子さん 逆流性食道炎の反対で胃と食道のつなぎ目は狭くなっているけれど、結果的に食べたものが逆流するところは同じね。逆流性食道炎では、胸やけと咳が見られるけど、食道アカラシアでは嘔吐が見られるわね。

Dr.K 食道アカラシアを疑う場合は、上部消化管内視鏡（以下、胃カメラ）検査で食道の内部と胃との間の狭窄を確認したり、食道X線造影検査で下部食道への造影剤の貯留を確認したりするわ。

逆流性食道炎においても、胃カメラ検査が標準的だわ。食道がんがないか胃カメラでチェックすることもあるので、胃と食道の病気と言えば、まず胃カメラ検査ね。



ケン太くん 胃カメラ検査が重要なんですね。必要な時にすぐ受けられる検査なのかな。

エイ子さん 検査自体は健診でよく行われている検査

で、症状と経過から想定疾患を考えて胃カメラ検査を行うわね。飲み込みにくさと胸やけなどの気になる症状があれば、まずはかかりつけ医に相談することね。

Dr.K 嚥下の異常は脳梗塞などの症状として現れることもあるわ。脳梗塞の他の症状として、体の片側だけの麻痺や意識障害、ろれつが回りにくくなることがあるわね。脳梗塞を疑う場合は、できるだけ早く病院を受診して欲しいわ。

ケン太くん 脳梗塞には様々な症状があるんですね。

Dr.K そうよ。まず脳梗塞がないことを確認し、胃カメラ検査では、嚥下に関わる食道・胃の異常を分かりやすく診断できるわ。粘膜とその下にある筋肉の異常も見つかることがあるのよ。内視鏡的治療と言って、胃カメラ検査と同時に、早期がんや食道アカラシアなどの病変の治療も行われているわね。他に嚥下機能の検査として、X線による嚥下造影検査があるわ。

ケン太くん 胃カメラ検査でがんを見逃さず、同時に治してしまうというわけだ。

エイ子さん 治療後の経過観察も内視鏡でできるし、がんを早く見つけ、早期のままに治してしまおうという最新の考え方に基づいているわ。早期がんなので、治療もすべて消化器内科で行うわね。

Dr.K 他に胃カメラが活躍する場面として、食道異物の除去があるわね。高齢者では、認知機能低下などで、入れ歯などを飲み込んでしまうことがあるからよ。

エイ子さん 食道に入った異物を、口から入れた胃カメラで除去するわけですね。救急外来などで行われているわね。

Dr.K 高齢者では、体調不良の原因が分からないことも多く、肺炎が疑わしい時も、症状があまり見えなかったり、少し見ただけでは何も異常が無いように見えがちだわ。

ケン太くん 年を取ると、飲み込む力が低下したり、体調が分かりづらかったりといろいろ大変だな・・・。お二人とも、誤嚥や胃カメラ検査の大事さ、食道と胃の病気について、いろいろ教えてくださいありがとうございます。

